

# 夢、私たちに。 わたしのひとこと



## 前向きに…

蕨平 松沢 由美

2011年は、明るいニュースがない年でした。どうしても辛く嫌な事は、しつこく考えてしまいます。しかし、それは、解決に繋がりません。忘れてしまう事も一つの解決かと思えますが、そのためには新しい情報を脳に貯める、つまり、辛く嫌な事を繰り返し考える余裕を与えず、それをさせないために、嫌な事があつたら、美味しい物を食べに行くとか、家族と笑い合える会話をするとか、親友に会って全く別の会話に熱中する方法とか…。今の自分には、目の前の問題から前向きに考え、日々成長していく事しか出来ませんが、楽観的に、そしてプラス思考に考えていけたらいいなと思います。2012年が素晴らしい一年になりますように。



## 子育てに思うこと

沢度 吉沢 朋美

昨年、上の娘が10歳を迎え私の母親歴も10年を過ぎました。下の息子も今春から小学生。色々ありましたが、今となつてはあつという間です。マイペースでよくしゃべる娘と、「ママ、ママ」と1日に何回呼ぶんだと思うほど甘えん坊の息子。時にはついイライラしてしまいヒステリックに怒ってしまうこともあります。10年後、娘は20歳。自分の世界を持って自分の力で生活しているでしょう。息子は思春期真っ只中。これほどママと呼んでいる子が私とどれだけ話しているでしょうか。そう思うと二人こぞって私にまわりつくのもあと数年、ヒステリックを反省しなくては。そしてどんな大人になるのか、この10年よりさらに大切な10年だと思います。母親業はまだまだこれから。優しい心と強い気持ちを持った子に。しっかり子どもを見守っていきたいです。



## 自然との共生

落倉 服部 卓也

自然との共生といっても色々あります。野生の動植物との共生、自然現象との共生等です。地震や津波などの自然災害に対し、お金をかけて強固な構造物を造ったり、有害鳥獣に対し、狩猟で全てを排除すればよいというものではありません。そこには景観があつたり、自然との調和があつたり、生態系があつたりするからです。

このたび落倉の全線未舗装の通りが、役場と協議の結果、希少動植物と共生した道路づくりをしていこうとこことで意見がまとまりました。昔からの山道で公図も複雑だったり、地主さんも県外の方も多数いるなど問題も山積ですが、少しずつでも前に進んでいければと思っています。ここまでくるのに20年以上もかかりました。道路の舗装ひとつとってみても改めて自然との共生の難しさを感じています。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、3・11の大震災で多くの尊い命が失われ、多くの生活の場が一瞬にして奪われました。当村でもいろいろな形での影響が懸念されました。そして、注目された言葉は「絆」でした。子どもたちに残す未来の白馬村をつくるために、地域住民と行政や民間、議会等が、方法は違つても、目指す方向性を一にして歩んでゆく「絆」が大切と痛感します。本年も、議会だよりでは、諸先輩方のご努力の上に工夫を重ね、まさしく「絆」となる情報をお届けしていこうと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

(篠崎久美子)

### 議会報調査編集特別委員会

議長	下川 正剛
委員長	太田 修
副委員長	柏原 良章
委員	篠崎久美子
委員	太田 伸子
委員	田中 榮一
委員	小林 英雄
委員	松沢 貞一